

再チャレンジの きっかけとしてのNPO雇用状況 アンケート調査報告

再チャレンジのきっかけとしてのNPO雇用状況アンケート調査報告

2009年3月

産官学民・再チャレンジ学習支援協議会

事務局 NPOサポートセンター

2009年3月

産官学民・再チャレンジ学習支援協議会
事務局：NPOサポートセンター

目 次

アンケート調査の結果

アンケート調査概要	5
アンケート調査結果	7
1．団体基本情報	7
2．有給職員雇用状況	9
3．有職員雇用に関する今後の予定	18
4．ミドルエイジ世代の雇用	30
5．ボランティア・インターンについて	32
付録 アンケート調査票	43

アンケート調査の結果

アンケート調査概要

1 調査主旨

本調査では、NPO が雇用の受皿としての期待が高まっている中、受け手である NPO の雇用ニーズと現況を把握し、NPO のニーズに合った人材と NPO をつなげる「機会」の創出に役立てることを目的に実施しました。アンケートの結果は、NPO での就労やボランティア・インターンを希望している方々への情報提供、また相談等でのアドバイスなど、出会いのきっかけづくりに役立てたいと思います。

2 調査期間

2008 年 11 月 28 日～2009 年 2 月 28 日

3 調査方法

郵送によるアンケート調査

4 調査対象

中央区、港区、千代田区、世田谷区、江東区、杉並区、中野区、武蔵野市、8 区の NPO 法人 2,500 団体

6 回収状況

返信件数 254 団体

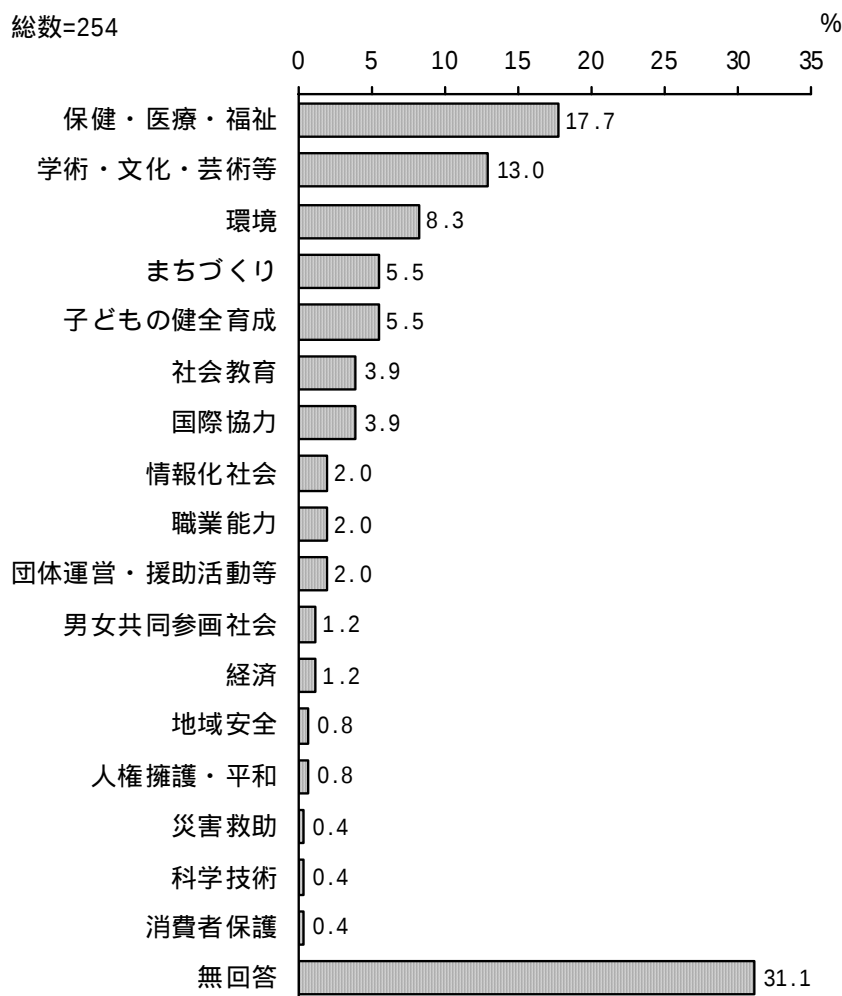
7 調査項目

- (1) 団体の属性について
- (2) 職員の雇用の状況および今後の予定について
- (3) 団塊世代の雇用の状況および今後の予定について
- (4) 団塊世代雇用における良い点・問題点・改善策等について

アンケート調査結果

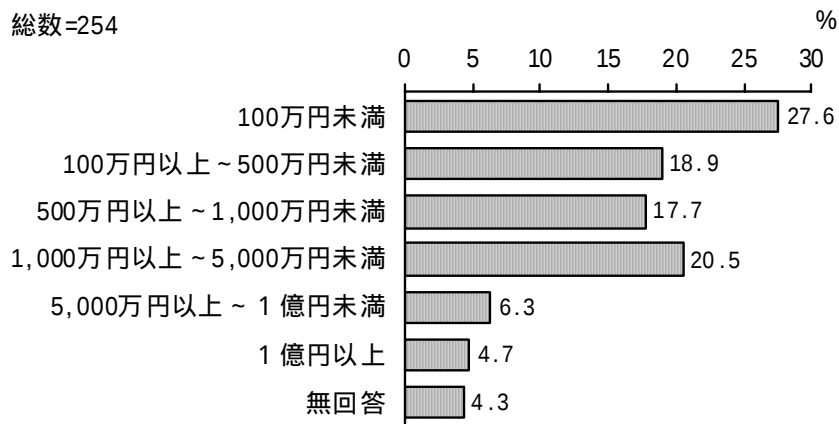
1. 団体基本情報

問1. 主とする活動分野「 」



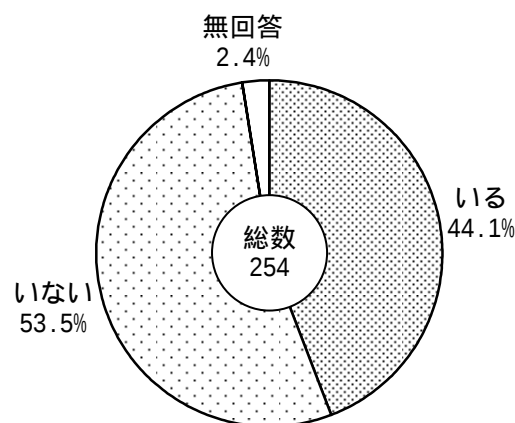
回答の中の第1位は、「保健・医療・福祉」の17.7%であり、第2位の「学術・文化・芸術等」の13.0%を若干上回っている。第3位は「環境」(8.3%)、第4位は「まちづくり」(5.5%)、第5位は「子どもの健全育成」(5.5%)となっている。

問4. 決算の総支出額



回答の中の第1位は、「100万円未満」の27.6%であり、第2位の「1,000万円以上～5,000万円未満」の20.5%をやや上回っている。第3位は「100万円以上～500万円未満」(18.9%)、第4位は「500万円以上～1,000万円未満」(17.7%)、第5位は「5,000万円以上～1億円未満」(6.3%)となっている。

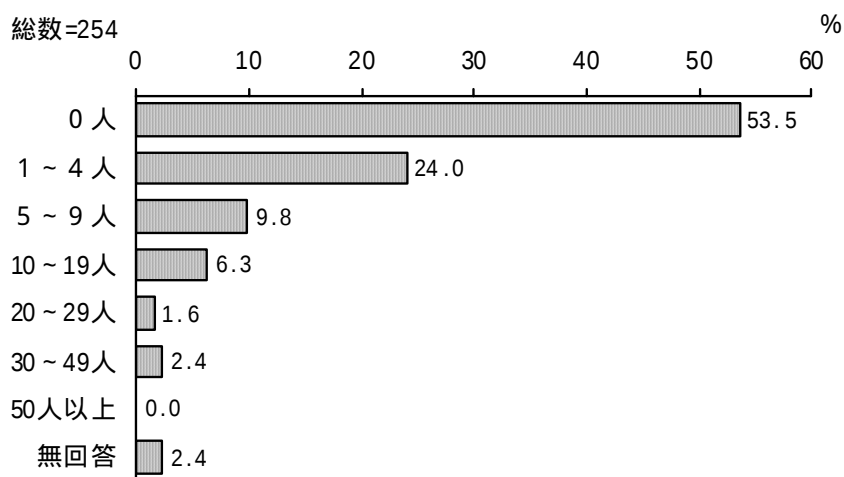
問5. 職員の有無



「いない」が53.5%と、「いる」の44.1%をある程度上回る結果となっている。

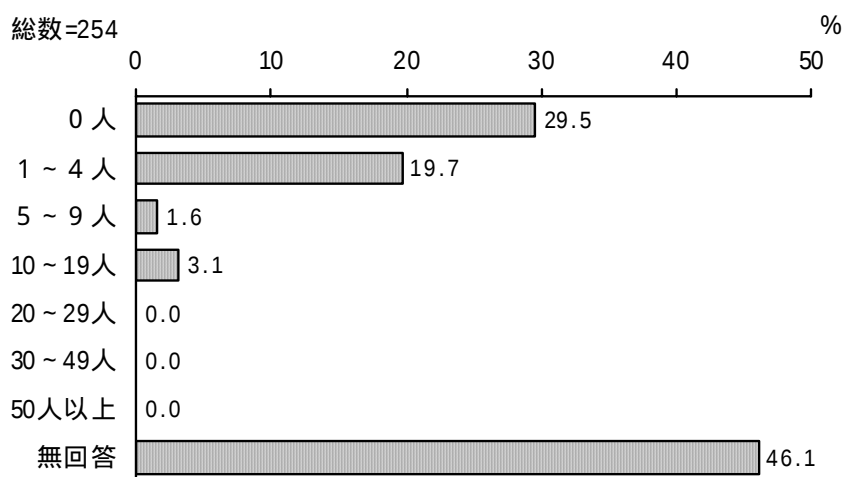
2. 有給職員雇用状況

問5. 有給職員合計人数分類(平均:人)



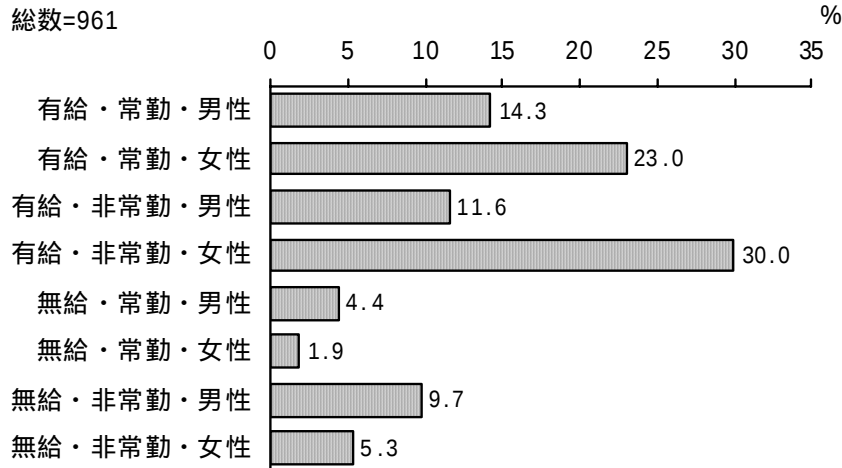
最も多い答えは「0人」の53.5%であり、第2位の「1～4人」の24.0%の2倍以上となっている。第3位は「5～9人」(9.8%)、第4位は「10～19人」(6.3%)となっている。

問5. 無給職員合計人数分類(平均:人)



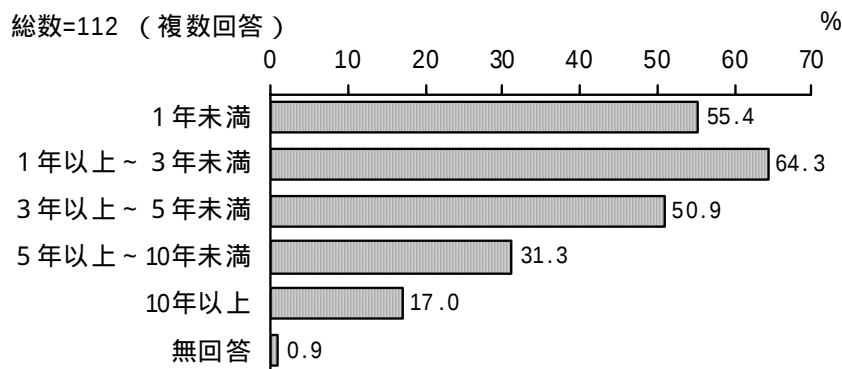
最も回答が多いのは、「0人」の29.5%である。次に多いのは「1～4人」であり、19.7%とこれをやや下回って続いている。

問5. 有給・無給・常勤・非常勤・性別職員人数(実数・構成比:人/%)



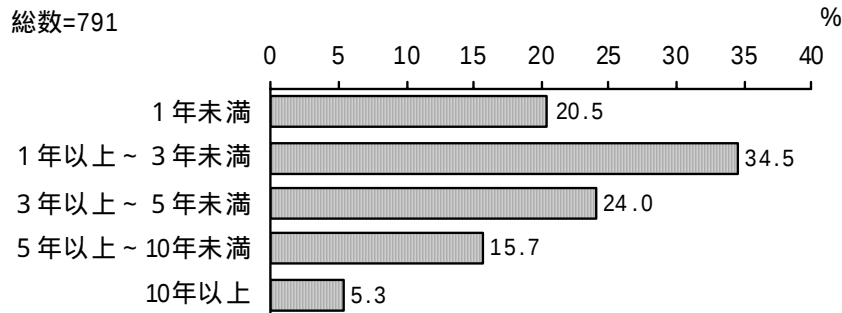
最も回答が多いのは、「有給・非常勤・女性」の30.0%である。次に多いのは「有給・常勤・女性」であり、23.0%とこれをやや下回って続いている。第3位は「有給・常勤・男性」の14.3%、第4位は「有給・非常勤・男性」の11.6%、第5位は「無給・非常勤・男性」の9.7%となっている。

問6. 有給職員在職年数



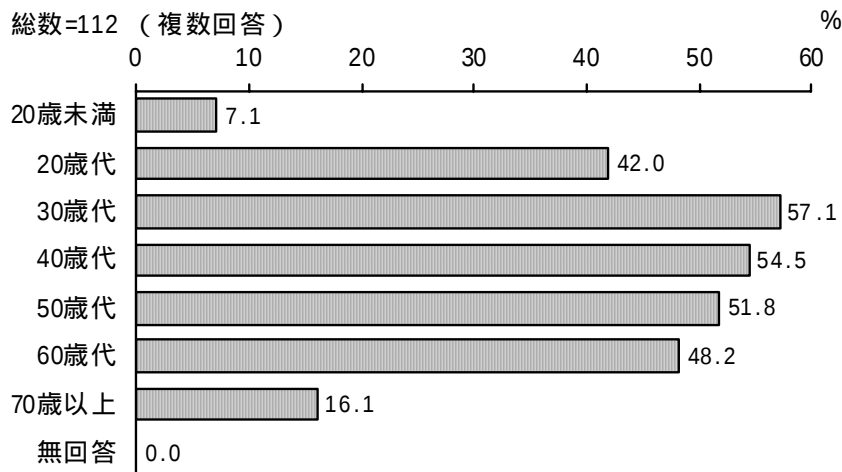
回答の中の第1位は、「1年以上～3年未満」の64.3%であり、第2位の「1年未満」の55.4%をやや上回っている。第3位は「3年以上～5年未満」(50.9%)、第4位は「5年以上～10年未満」(31.3%)、第5位は「10年以上」(17.0%)となっている。

問6. 有給職員在職年数別人数(実数・構成比:人/%)



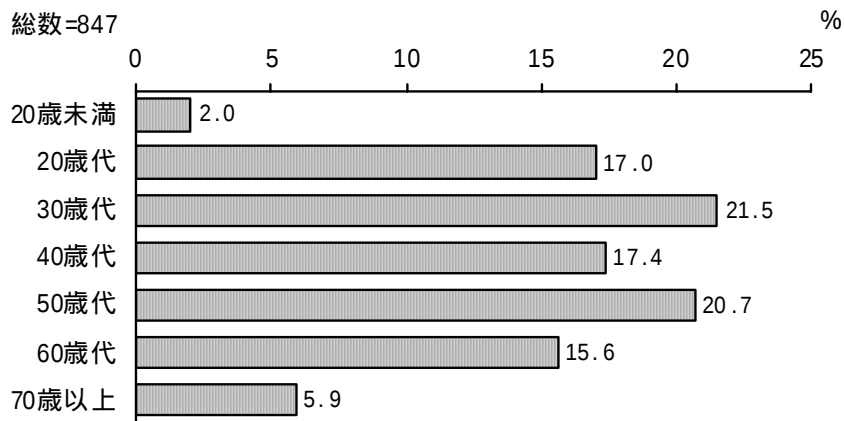
最も回答が多いのは、「1年以上～3年未満」の34.5%である。次に多いのは「3年以上～5年未満」であり、24.0%とこれを一定程度下回って続いている。第3位は「1年未満」の20.5%、第4位は「5年以上～10年未満」の15.7%、第5位は「10年以上」の5.3%となっている。

問7. 職員年齢



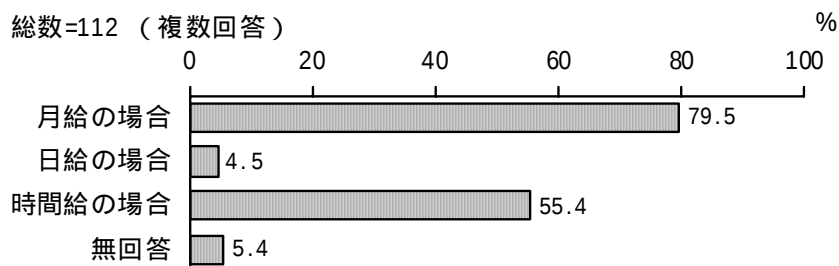
回答の中の第1位は、「30歳代」の57.1%であり、第2位の「40歳代」の54.5%を若干上回っている。第3位は「50歳代」(51.8%)、第4位は「60歳代」(48.2%)、第5位は「20歳代」(42.0%)となっている。

問7. 職員年齢別人数(実数 / 構成比:人 / %)



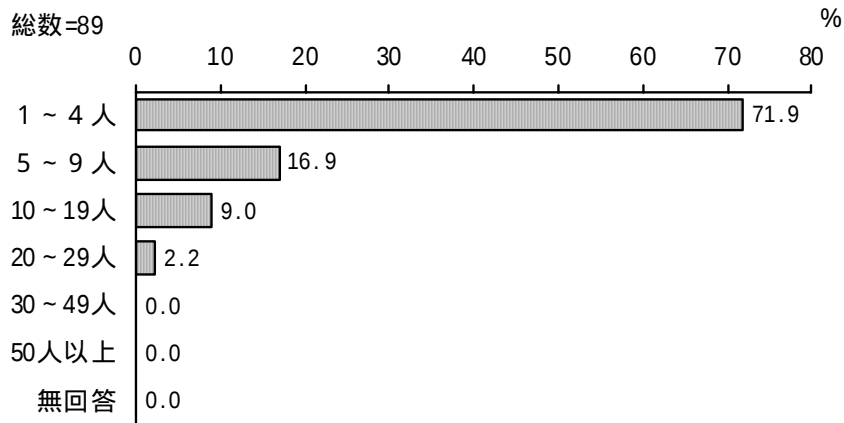
回答の中の第1位は、「30歳代」の21.5%であり、第2位の「50歳代」の20.7%を若干上回っている。第3位は「40歳代」(17.4%)、第4位は「20歳代」(17.0%)、第5位は「60歳代」(15.6%)となっている。

問9. 職員の給与形態



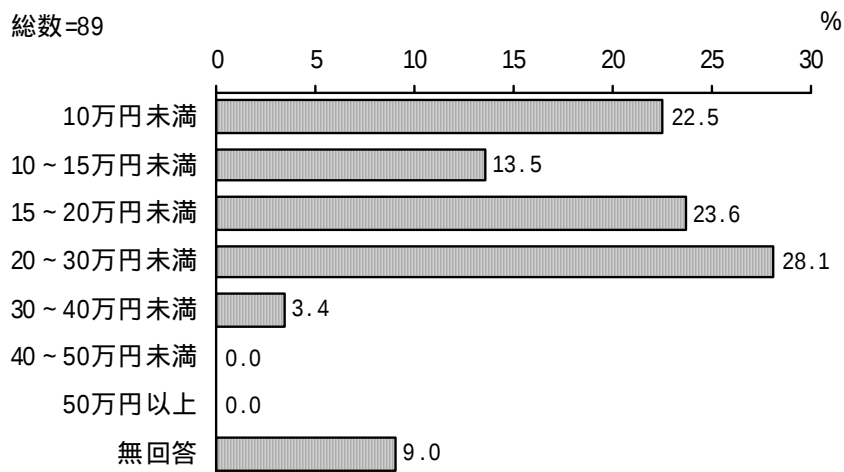
回答の中の第1位は、「月給の場合」の79.5%であり、第2位の「時間給の場合」の55.4%をかなり上回っている。

問9. 月給人数分類(平均:人)



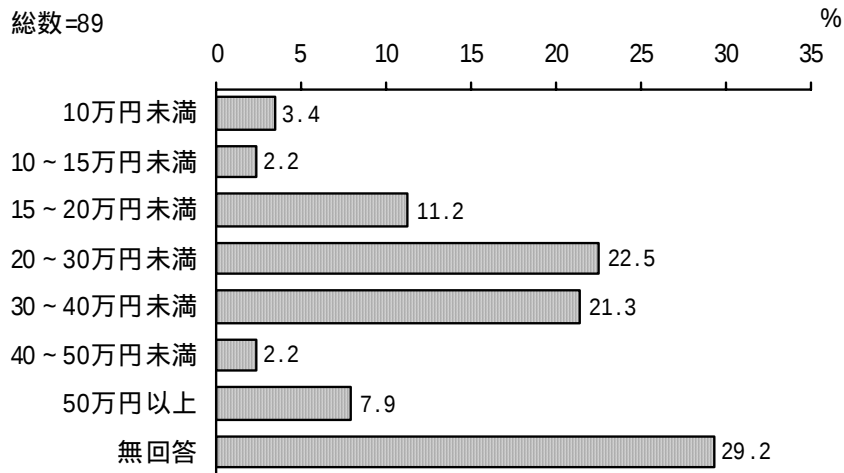
回答のなかでは、「1～4人」が71.9%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2番目に多いのは、「5～9人」の16.9%、3番目は「10～19人」の9.0%となっている。

問9. 給与・月給分類・最少(平均:円)



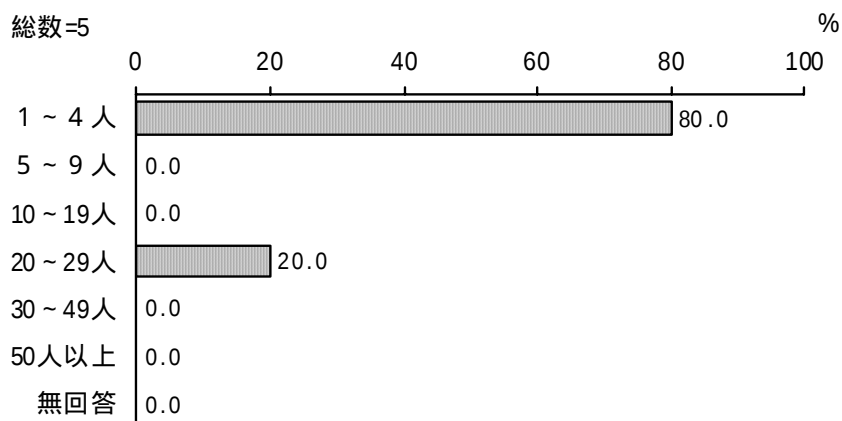
最も回答が多いのは、「20～30万円未満」の28.1%である。次に多いのは「15～20万円未満」であり、23.6%とこれを若干下回って続いている。第3位は「10万円未満」の22.5%、第4位は「10～15万円未満」の13.5%となっている。

問9 . 給与・月給分類・最大(平均:円)



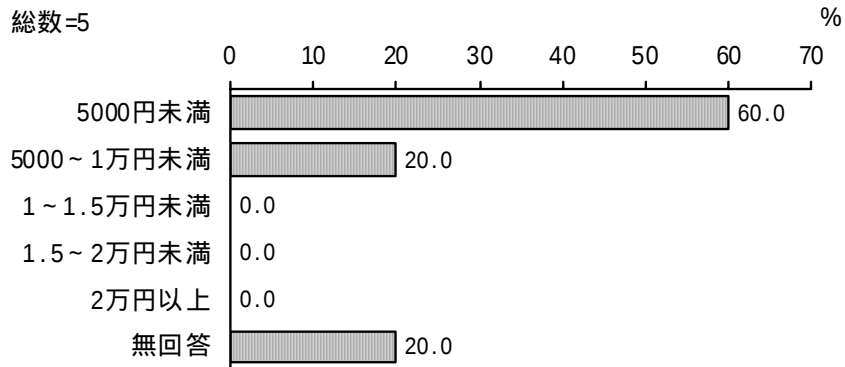
最も回答が多いのは、「20～30万円未満」の22.5%である。次に多いのは「30～40万円未満」であり、21.3%とこれを若干下回って続いている。第3位は「15～20万円未満」の11.2%、第4位は「50万円以上」の7.9%となっている。

問9 . 日給人数分類(平均:人)



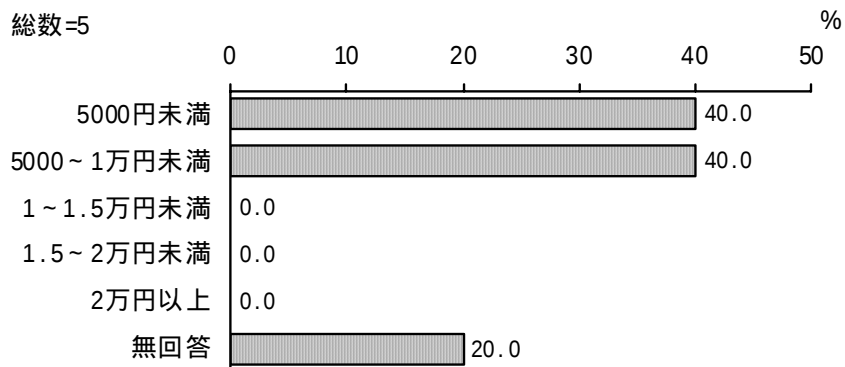
回答のなかでは、「1～4人」が80.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2番目に多いのは、「20～29人」の20.0%となっている。

問9. 単価・日給分類・最少(平均:円)



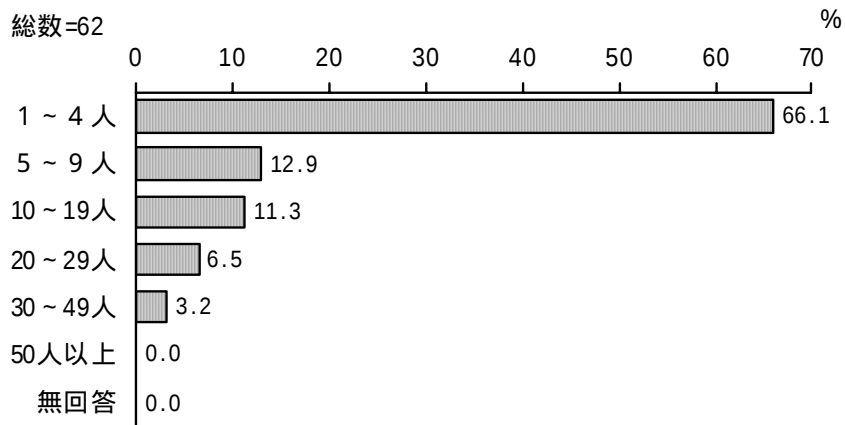
最も多い答えは「5000 円未満」の 60.0%であり、第 2 位の「5000～1 万円未満」の 20.0%の 2 倍以上となっている。

問9. 単価・日給分類・最大(平均:円)



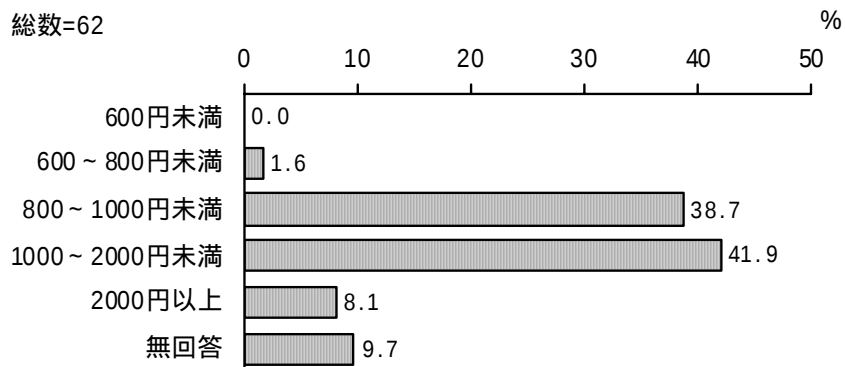
「5000 円未満」と「5000～1 万円未満」は、40.0%で同数 1 位となっている。

問9 . 時間給人数分類平均: 人)



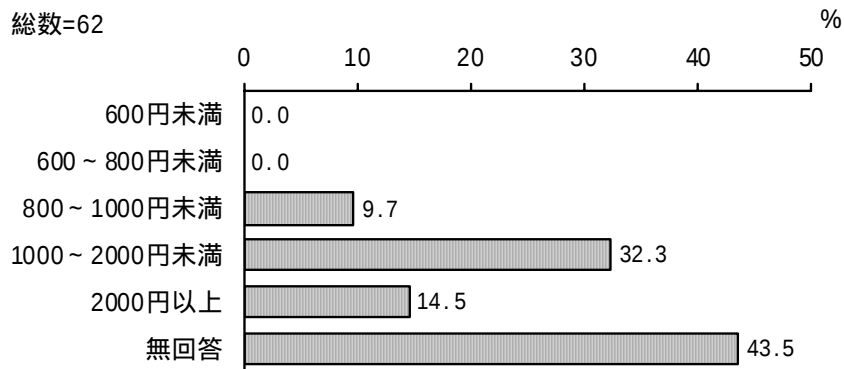
回答のなかでは、「1 ~ 4 人」が 66.1%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2 番目に多いのは、「5 ~ 9 人」の 12.9%、3 番目は「10 ~ 19 人」の 11.3%となっている。

問9 . 単価・時間給分類・最少 (平均: 円)



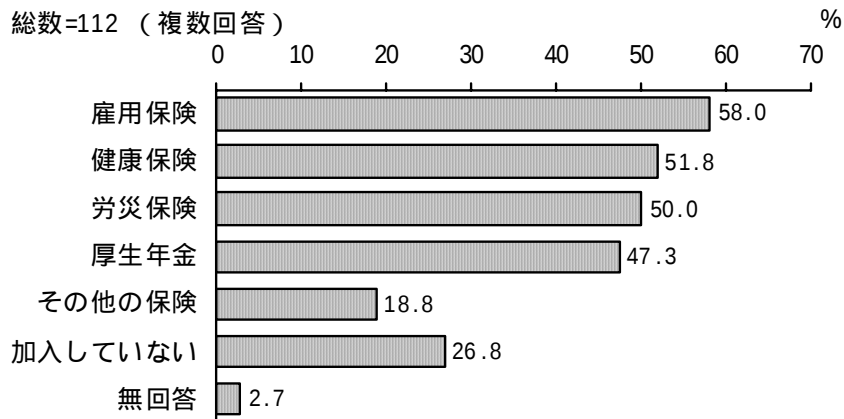
回答の中の第 1 位は、「1000 ~ 2000 円未満」の 41.9%であり、第 2 位の「800 ~ 1000 円未満」の 38.7%を若干上回っている。第 3 位は「2000 円以上」(8.1%) となっている。

問9. 単価・時間給分類・最大(平均:円)



最も多い答えは「1000～2000円未満」の32.3%であり、第2位の「2000円以上」の14.5%の2倍以上となっている。第3位は「800～1000円未満」(9.7%)となっている。

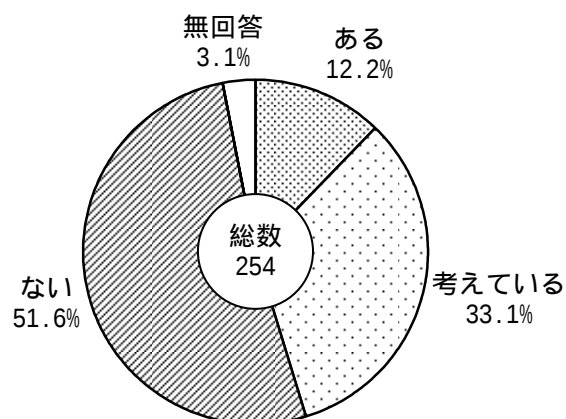
問10. 加入している保険



回答の中の第1位は、「雇用保険」の58.0%であり、第2位の「健康保険」の51.8%をやや上回っている。第3位は「労災保険」(50.0%)、第4位は「厚生年金」(47.3%)、第5位は「その他の保険」(18.8%)となっている。

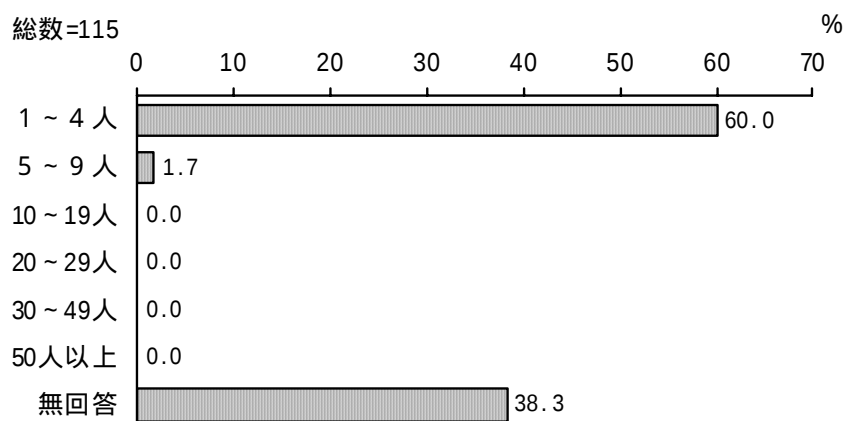
3. 有給職員雇用に関する今後の予定

問 11.有給職員を雇用する予定



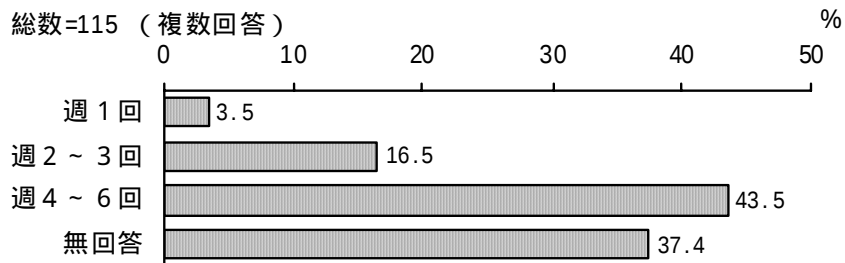
最も回答が多いのは、「ない」の 51.6%である。次に多いのは「考えている」であり、33.1%とこれを一定程度下回って続いている。第3位は「ある」の 12.2%となっている。

問12. 雇用する常勤人数分類(平均:人)



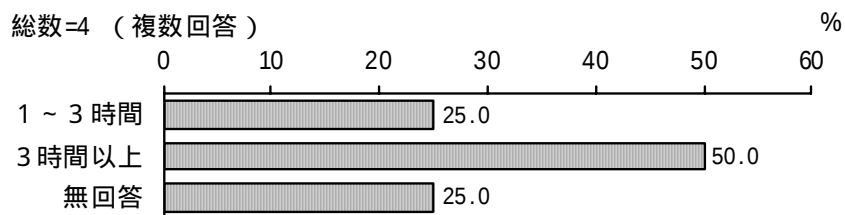
回答のなかでは、「1 ~ 4 人」が 60.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。次に多い回答(「5 ~ 9 人」)でも 1.7 とかなり低い値となっている。

問12. 雇用する就業形態「常勤」



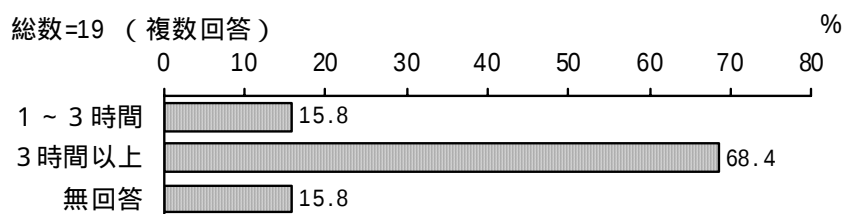
最も多い答えは「週4～6回」の43.5%であり、第2位の「週2～3回」の16.5%の2倍以上となっている。

問12. 就業形態「常勤・週1回」の時間



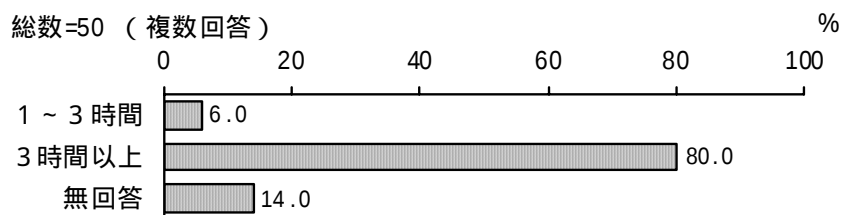
「3時間以上」が50.0%と、「1～3時間」の25.0%をかなり上回る結果となっている。

問12. 就業形態「常勤・週2～3回」の時間



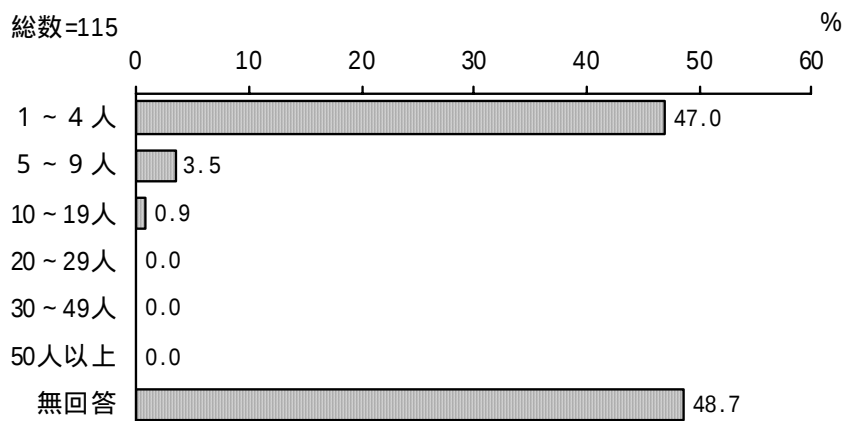
「3時間以上」が68.4%と、「1～3時間」の15.8%を大きく上回る結果となっている。

問12. 就業形態「常勤・週4～6回」の時間



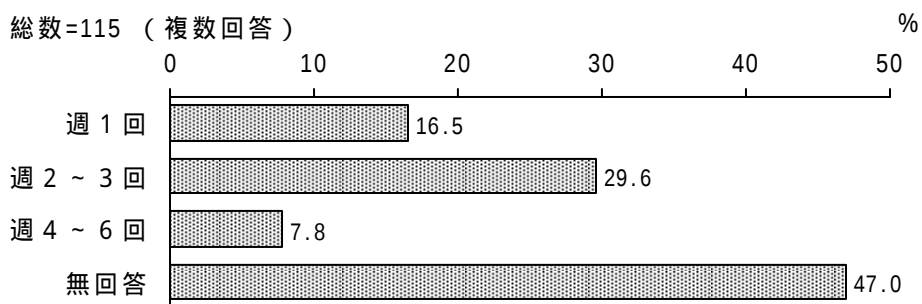
「3時間以上」が80.0%と、「1～3時間」の6.0%を大きく上回る結果となっている。

問12. 雇用する非常勤人数分類(平均:人)



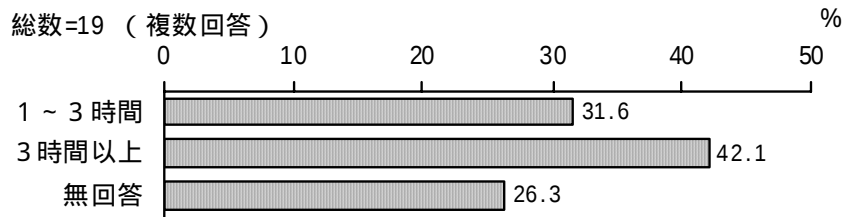
回答のなかでは、「1～4人」が47.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。次に多い回答(「5～9人」)でも3.5とかなり低い値となっている。

問12. 雇用する就業形態「非常勤」



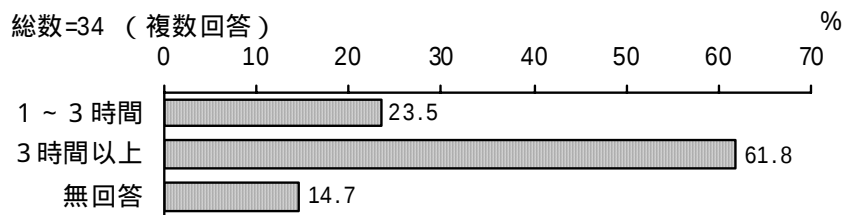
回答の中の第1位は、「週2～3回」の29.6%であり、第2位の「週1回」の16.5%をかなり上回っている。第3位は「週4～6回」(7.8%)となっている。

問12. 就業形態「非常勤・週1回」の時間



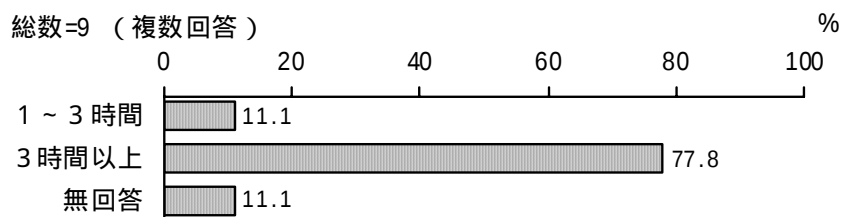
「3時間以上」が42.1%と、「1～3時間」の31.6%をある程度上回る結果となっている。

問12. 就業形態「非常勤・週2～3回」の時間



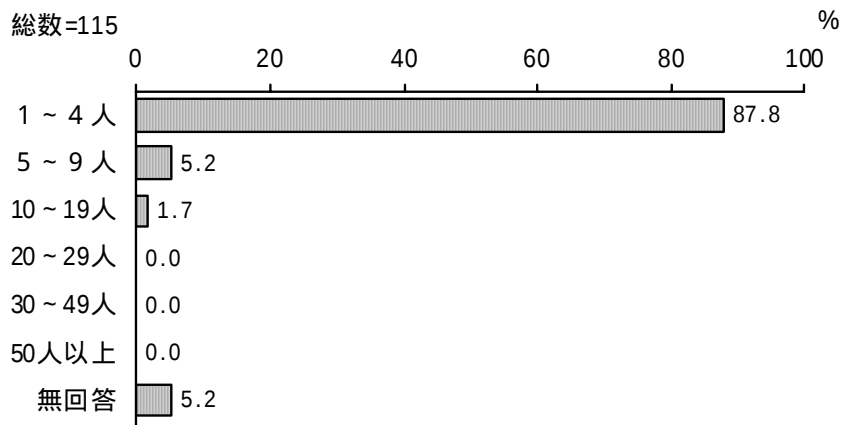
「3時間以上」が61.8%と、「1～3時間」の23.5%を大きく上回る結果となっている。

問12. 就業形態「非常勤・週4～6回」の時間



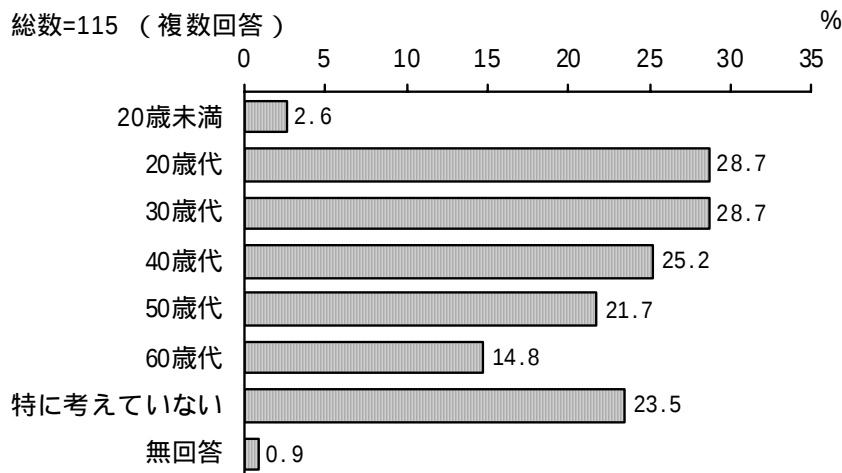
「3時間以上」が77.8%と、「1～3時間」の11.1%を大きく上回る結果となっている。

問12. 雇用する常勤・非常勤合計人数分類(平均:人)



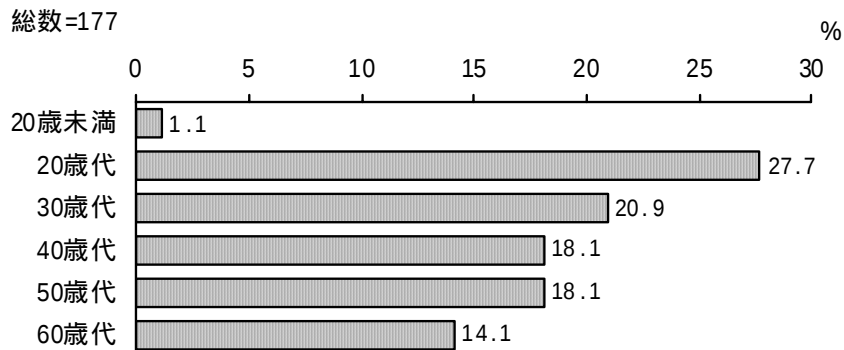
回答のなかでは、「1 ~ 4 人」が 87.8%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。次に多い回答(「5 ~ 9 人」)でも 5.2 とかなり低い値となっている。

問13. 雇用したいと思う年齢層



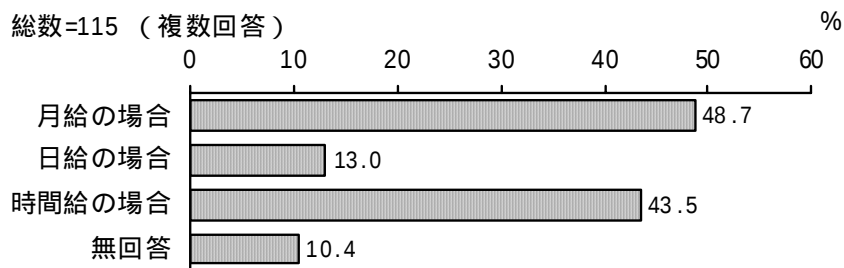
「20 歳代」と「30 歳代」は、28.7%で同数 1 位となっている。第 2 位は「40 歳代」の 25.2%、第 3 位は「特に考えていない」の 23.5%となっている。

問13. 雇用したいと思う年齢層別人数(実数・構成比:人 / %)



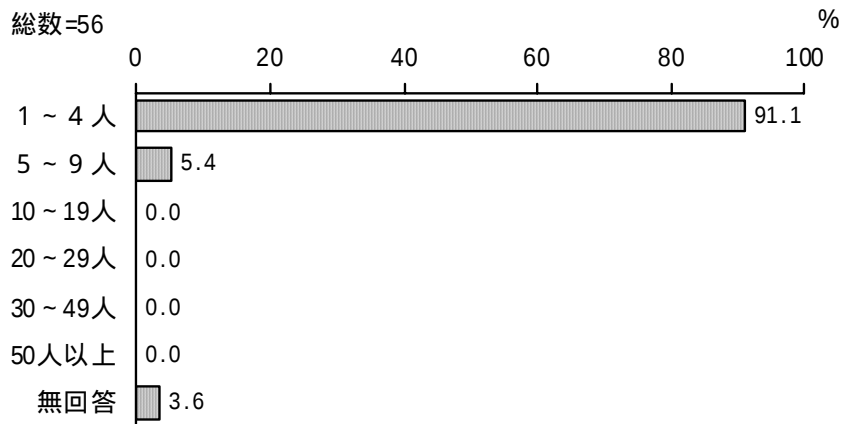
回答の中の第1位は、「20歳代」の27.7%であり、第2位の「30歳代」の20.9%をやや上回っている。第3位は「40歳代」(18.1%)、第4位は「50歳代」(18.1%)、第5位は「60歳代」(14.1%)となっている。

問14. 想定する給与形態



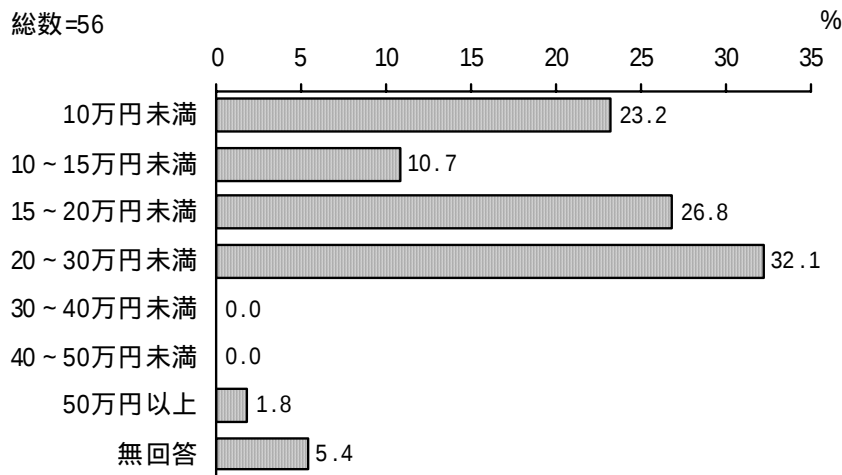
最も回答が多いのは、「月給の場合」の48.7%である。次に多いのは「時間給の場合」であり、43.5%とこれをやや下回って続いている。第3位は「日給の場合」の13.0%となっている。

問14. 月給人数分類(平均:人)



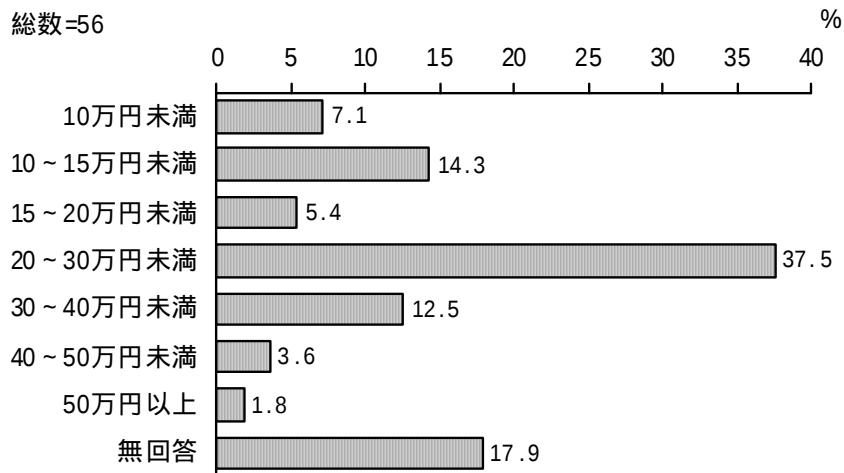
回答のなかでは、「1 ~ 4 人」が 91.1%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。次に多い回答（「5 ~ 9 人」）でも 5.4 とかなり低い値となっている。

問14. 想定する給与・月給分類(平均:円)



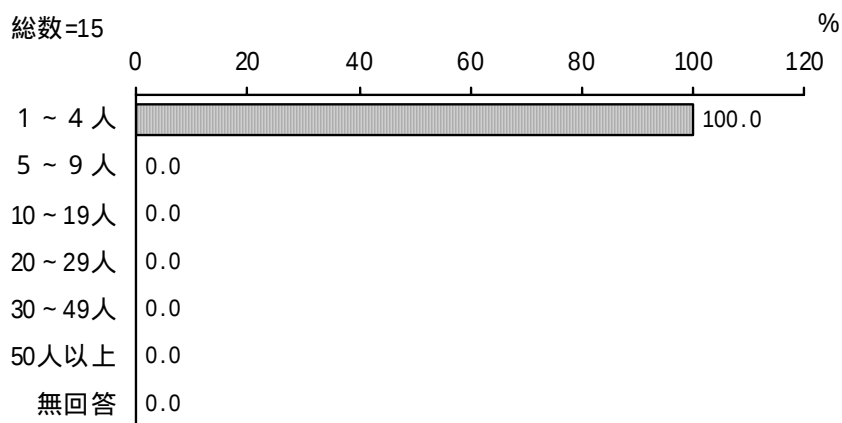
回答の中の第 1 位は、「20 ~ 30 万円未満」の 32.1%であり、第 2 位の「15 ~ 20 万円未満」の 26.8%をやや上回っている。第 3 位は「10 万円未満」(23.2%) 第 4 位は「10 ~ 15 万円未満」(10.7%) となっている。

問14. 上限金額・月給分類(平均:円)



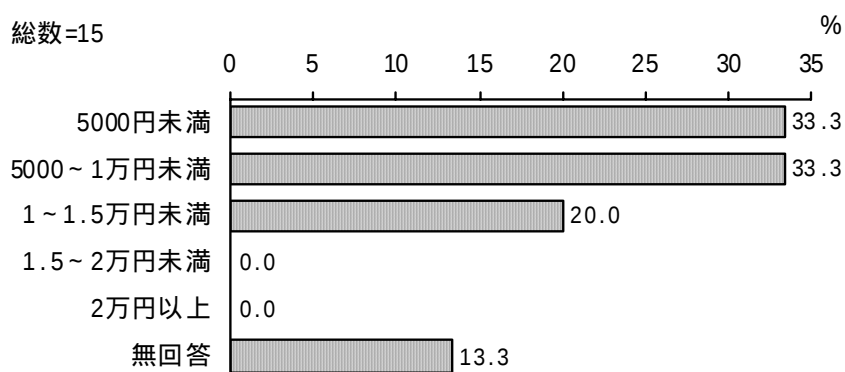
最も多い答えは「20～30万円未満」の37.5%であり、第2位の「10～15万円未満」の14.3%の2倍以上となっている。第3位は「30～40万円未満」(12.5%)、第4位は「10万円未満」(7.1%)、第5位は「15～20万円未満」(5.4%)となっている。

問14. 日給人数分類(平均:人)



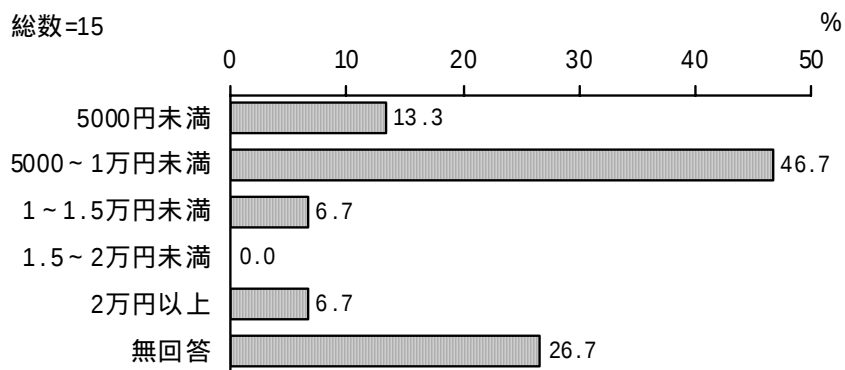
回答のなかでは、「1～4人」が100.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。次に多い回答(「5～9人」)でも0.0とかなり低い値となっている。

問14. 想定する給与・日給分類(平均:円)



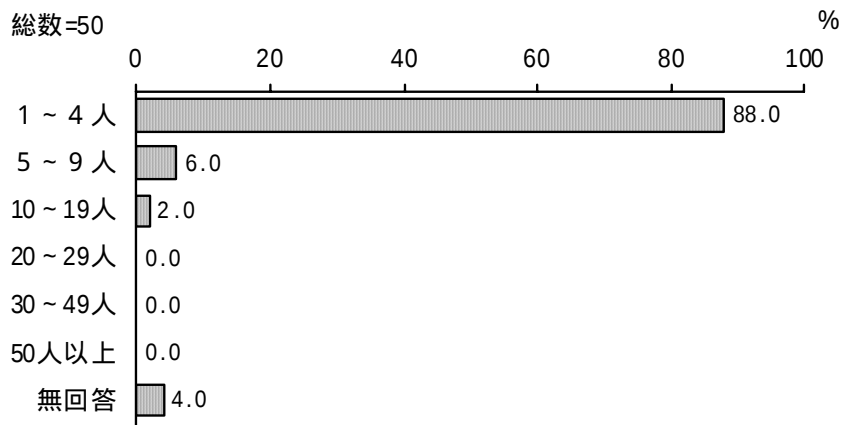
「5000 円未満」と「5000～1 万円未満」は、33.3%で同数1位となっている。第2位は「1～1.5 万円未満」の20.0%となっている。

問14. 上限金額・日給分類(平均:円)



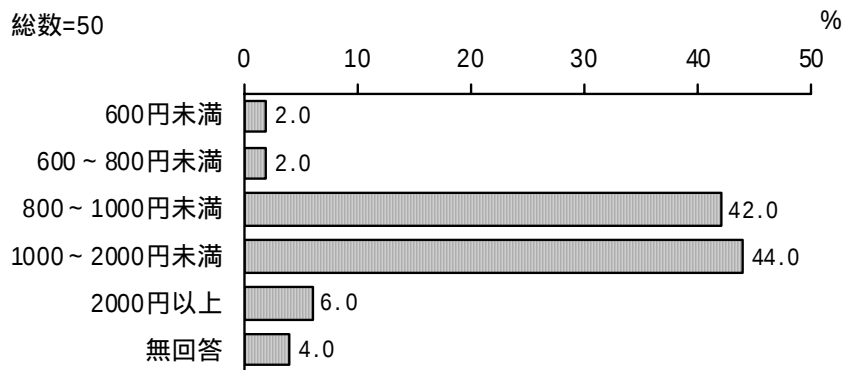
回答のなかでは、「5000～1 万円未満」が46.7%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2 番目に多いのは、「5000 円未満」の13.3%となっている。

問14. 時間給人数分類平均(人)



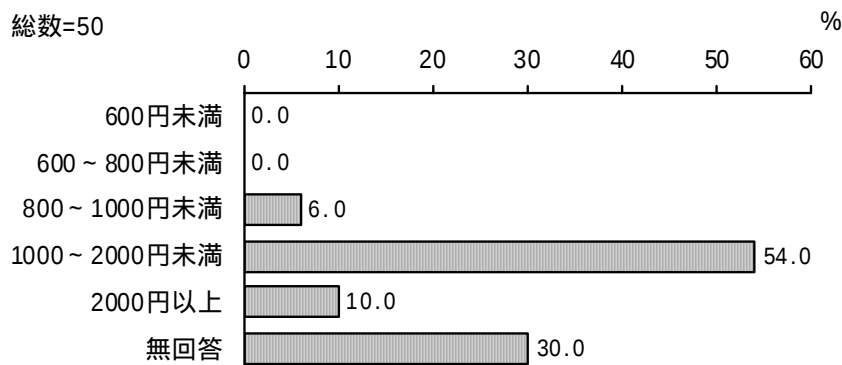
回答のなかでは、「1 ~ 4 人」が 88.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。次に多い回答(「5 ~ 9 人」)でも 6.0 とかなり低い値となっている。

問14. 想定する給与・時間給分類(平均:円)



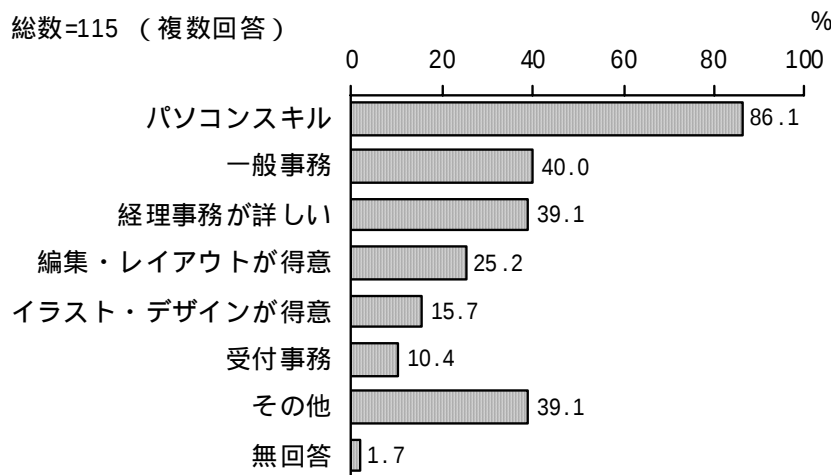
最も回答が多いのは、「1000 ~ 2000 円未満」の 44.0%である。次に多いのは「800 ~ 1000 円未満」であり、42.0%とこれを若干下回って続いている。第3位は「2000 円以上」の 6.0%となっている。

問14. 上限金額・時間給分類(平均:円)



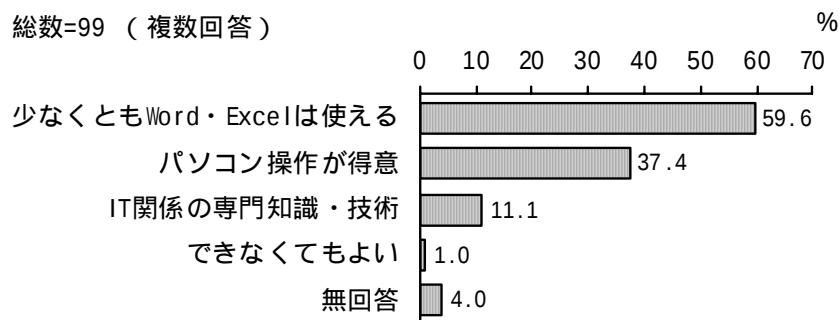
回答のなかでは、「1000～2000 円未満」が 54.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2 番目に多いのは、「2000 円以上」の 10.0%となっている。

問16. 希望する人材



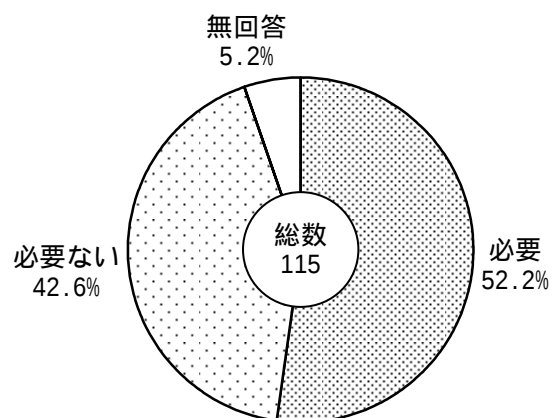
最も多い答えは「パソコンスキル」の 86.1%であり、第 2 位の「一般事務」の 40.0%の 2 倍以上となっている。第 3 位は「経理事務が詳しい」(39.1%)、第 4 位は「編集・レイアウトが得意」(25.2%)、第 5 位は「イラスト・デザインが得意」(15.7%) となっている。

問16. パソコンスキル



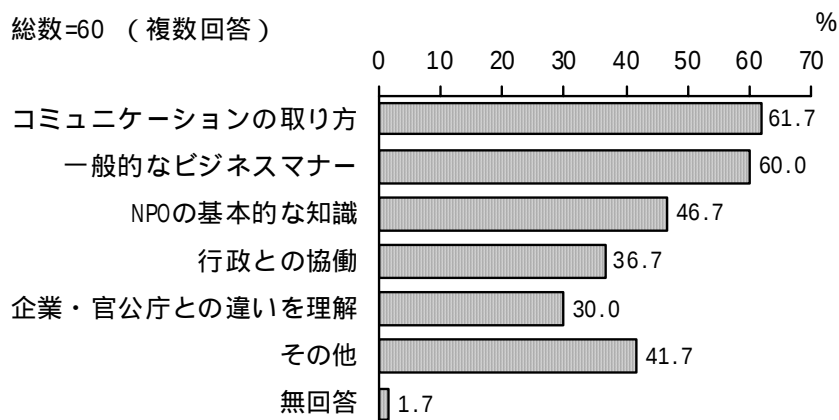
回答の中の第1位は、「少なくとも Word・Excel は使える」の 59.6%であり、第2位の「パソコン操作が得意」の 37.4%をかなり上回っている。第3位は「IT 関係の専門知識・技術」（11.1%）となっている。

問 17. 職員の研修の必要性



「必要」が 52.2%と、「必要ない」の 42.6%をある程度上回る結果となっている。

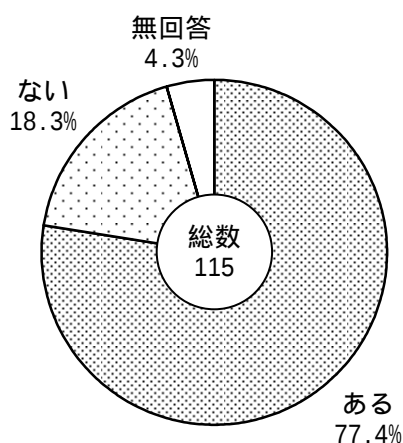
問18. 必要だと思う研修



回答の中の第1位は、「コミュニケーションの取り方」の61.7%であり、第2位の「一般的なビジネスマナー」の60.0%を若干上回っている。第3位は「NPOの基本的な知識」(46.7%)、第4位は「行政との協働」(36.7%)、第5位は「企業・官公庁との違いを理解」(30.0%)となっている。

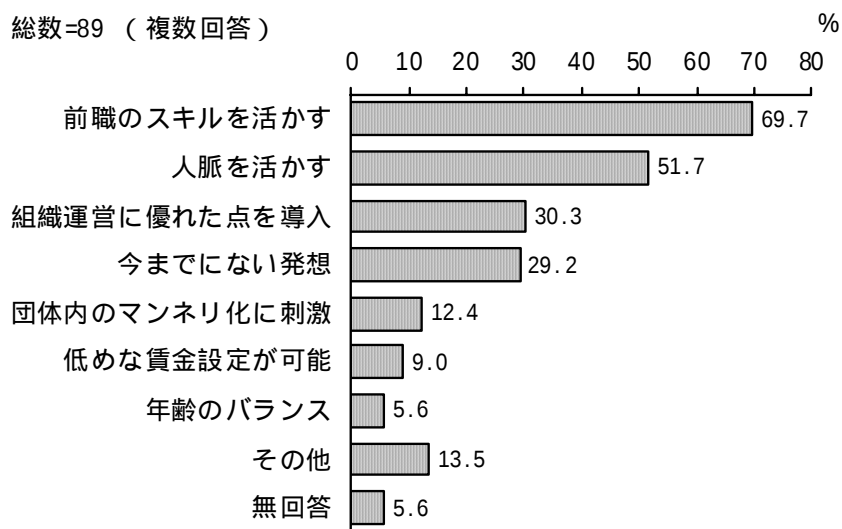
4. ミドルエイジ世代の雇用

問19. ミドルエイジ世代の雇用の可能性



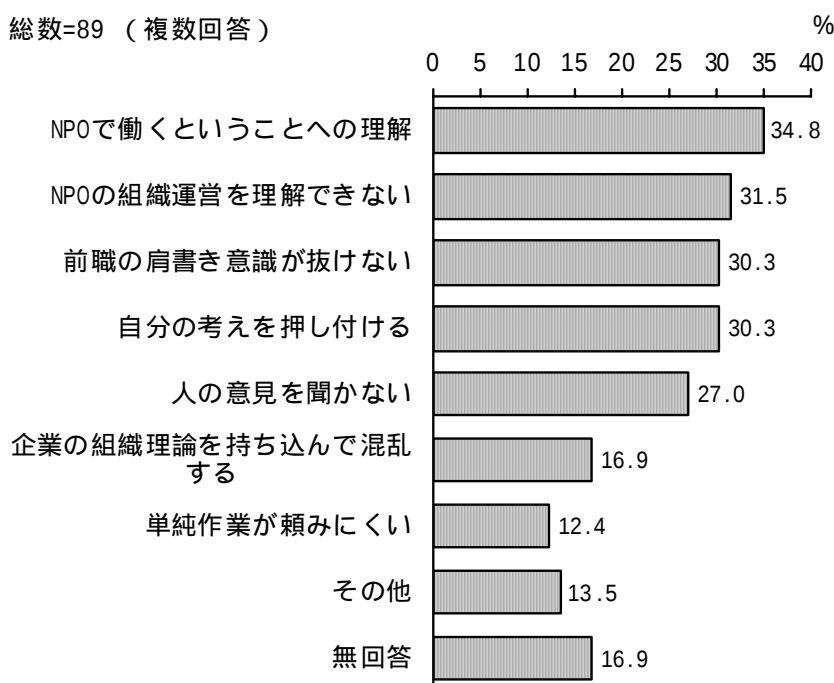
「ある」が77.4%と、「ない」の18.3%を大きく上回る結果となっている。

問20. ミドルエイジ世代に期待すること



最も回答が多いのは、「前職のスキルを活かす」の 69.7% である。次に多いのは「人脈を活かす」であり、51.7% とこれを一定程度下回って続いている。第 3 位は「組織運営に優れた点を導入」の 30.3%、第 4 位は「今までにない発想」の 29.2%、第 5 位は「団体内のマンネリ化に刺激」の 12.4% となっている。

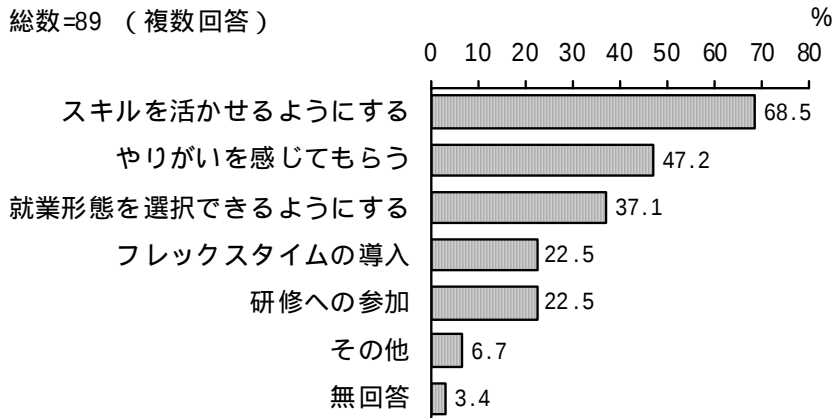
問21. ミドルエイジ世代を雇用する場合に不安なこと



回答の中の第 1 位は、「NPO で働くということへの理解」の 34.8% であり、第 2 位の「NPO の組織運営を理解できない」の 31.5% を若干上回っている。第 3 位は「前職の肩書き意識が抜けない」(30.3%)、第 4 位は「自分の考えを押し付ける」(30.3%)、第 5 位は「人の意見を聞かない」(27.0%) となっている。

問22. ミドルエイジ世代を雇用する場合に必要なこと

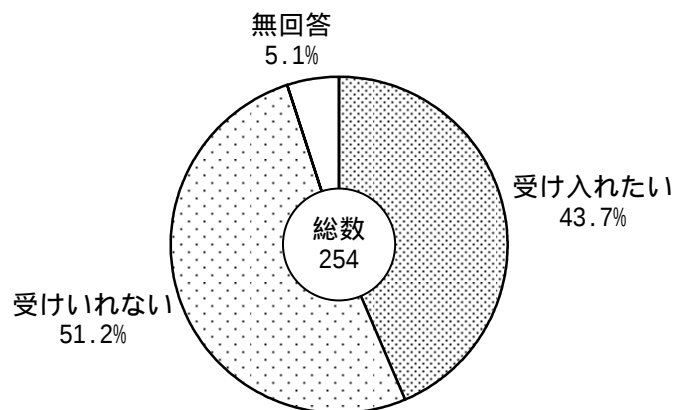
総数=89（複数回答）



最も回答が多いのは、「スキルを活かせるようにする」の 68.5%である。次に多いのは「やりがいを感じてもらう」であり、47.2%とこれを一定程度下回って続いている。第3位は「就業形態を選択できるようにする」の 37.1%、第4位は「フレックスタイムの導入」の 22.5%、第5位は「研修への参加」の 22.5%となっている。

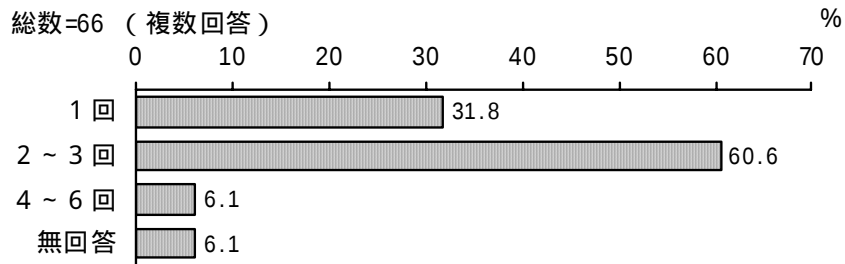
5. ボランティア・インターンについて

問 23. ボランティア・インターンの受けいれ



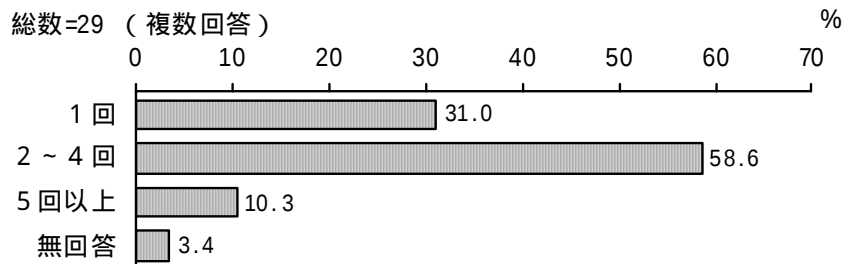
「受けいれない」が 51.2%と、「受け入れたい」の 43.7%をある程度上回る結果となっている。

問24. 希望頻度「1週間に」



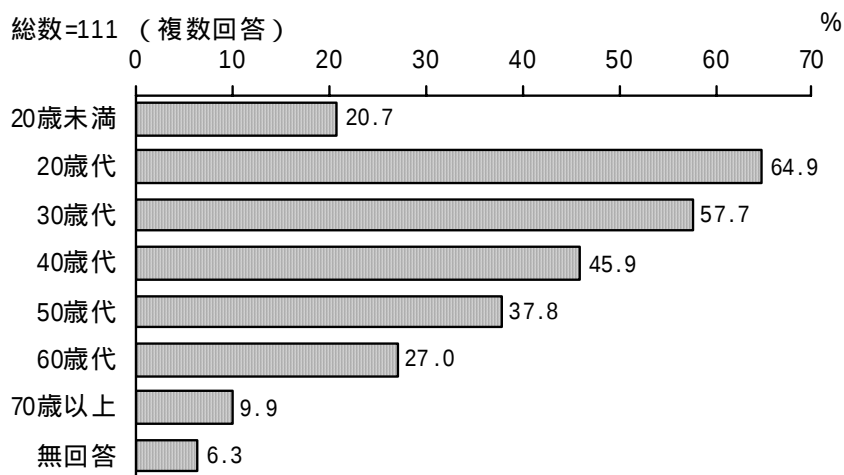
最も回答が多いのは、「2～3回」の60.6%である。次に多いのは「1回」であり、31.8%とこれを一定程度下回って続いている。第3位は「4～6回」の6.1%となっている。

問24. 希望頻度「1月に」



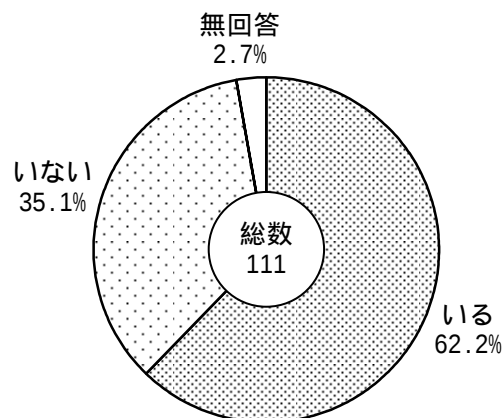
回答の中の第1位は、「2～4回」の58.6%であり、第2位の「1回」の31.0%をかなり上回っている。第3位は「5回以上」(10.3%)となっている。

問25. ボランティア・インターンの希望年齢層



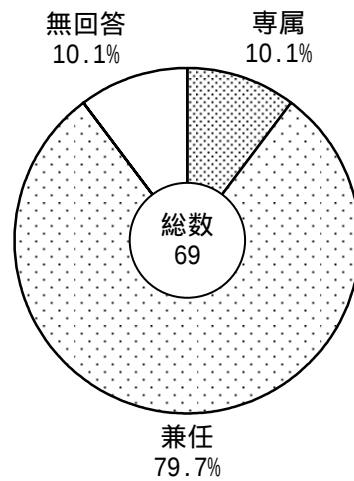
回答の中の第1位は、「20歳代」の64.9%であり、第2位の「30歳代」の57.7%をやや上回っている。第3位は「40歳代」(45.9%)、第4位は「50歳代」(37.8%)、第5位は「60歳代」(27.0%)となっている。

問26. ボランティア・インターンをコーディネートする担当者



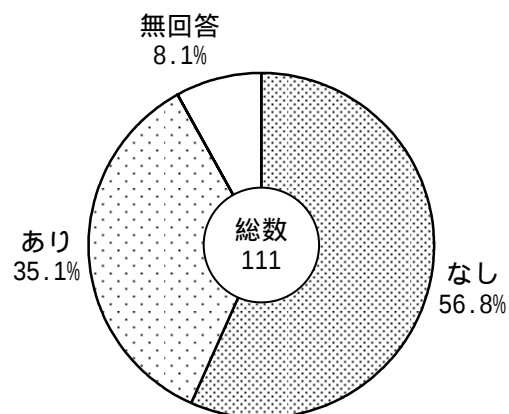
「いる」が62.2%と、「いない」の35.1%をかなり上回る結果となっている。

問 26 . コーディネート担当者がいる場合



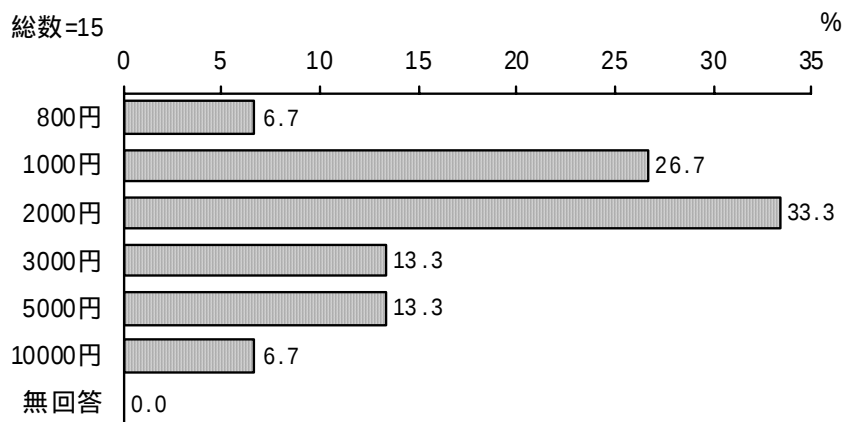
「兼任」が 79.7%と、「専属」の 10.1%を大きく上回る結果となっている。

問 26 . ボランティア・インターンに関する謝礼金



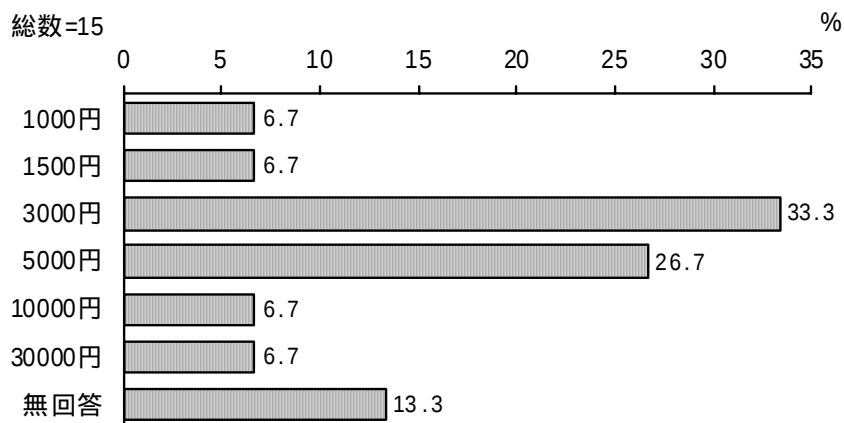
「なし」が 56.8%と、「あり」の 35.1%をかなり上回る結果となっている。

問28. 1回の謝礼金額分類・最少(平均:円)



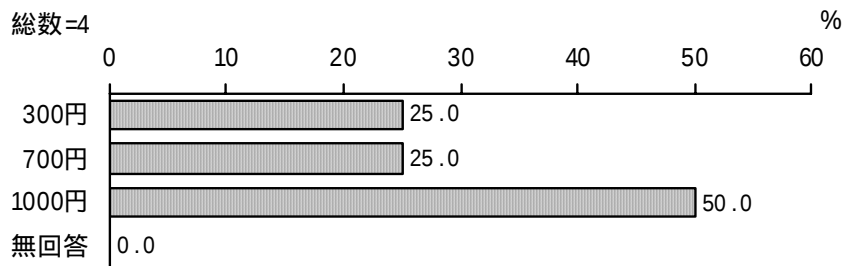
最も回答が多いのは、「2000 円」の 33.3%である。次に多いのは「1000 円」であり、26.7%とこれをやや下回って続いている。第3位は「3000 円」の 13.3%、第4位は「5000 円」の 13.3%、第5位は「800 円」の 6.7%となっている。

問28. 1回の謝礼金額分類・最大(平均:円)



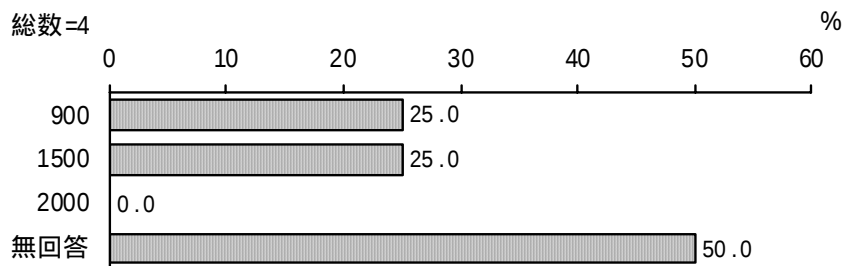
最も回答が多いのは、「3000 円」の 33.3%である。次に多いのは「5000 円」であり、26.7%とこれをやや下回って続いている。第3位は「1000 円」の 6.7%、第4位は「1500 円」の 6.7%、第5位は「10000 円」の 6.7%となっている。

問28. 1時間の謝礼金額分類・最少(平均:円)



回答の中の第1位は、「1000円」の50.0%であり、第2位の「300円」の25.0%をかなり上回っている。第3位は「700円」(25.0%)となっている。

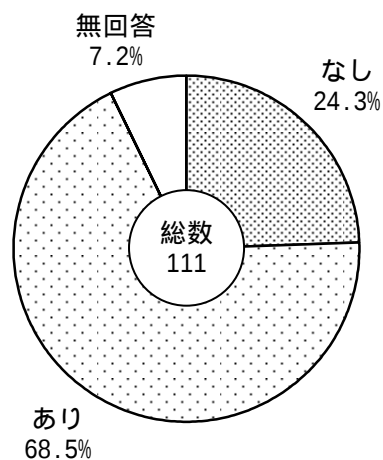
問28. 1時間の謝礼金額分類・最大(平均:円)



「900」と「1500」は、25.0%で同数1位となっている。

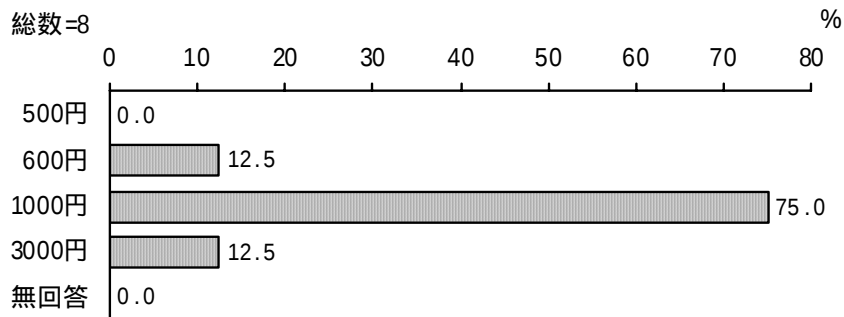
5. ボランティア・インターンについて

問28. ボランティア・インターンに対する交通費



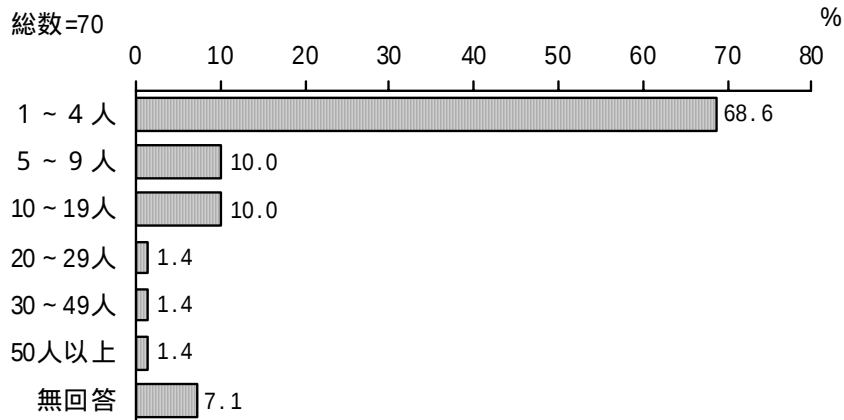
「あり」が68.5%と、「なし」の24.3%を大きく上回る結果となっている。

問28. 1回の交通費分類(平均:円)



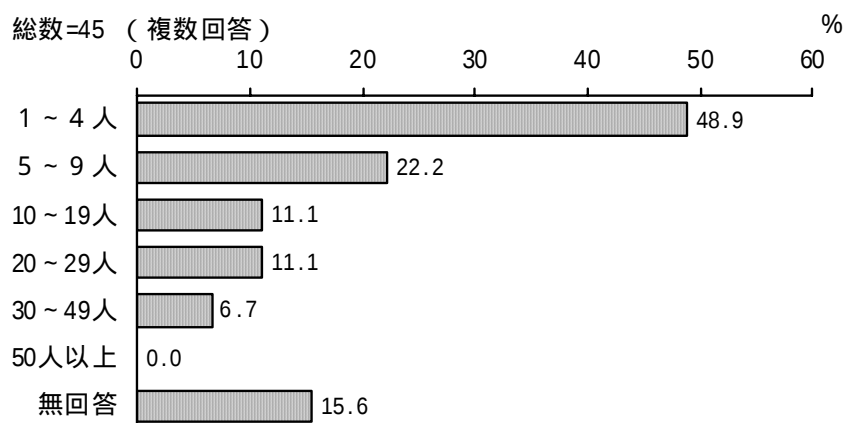
回答のなかでは、「1000 円」が 75.0%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2 番目に多いのは、「600 円」の 12.5%、3 番目は「3000 円」の 12.5%となっている。

問29. 通年人数分類(平均:人)



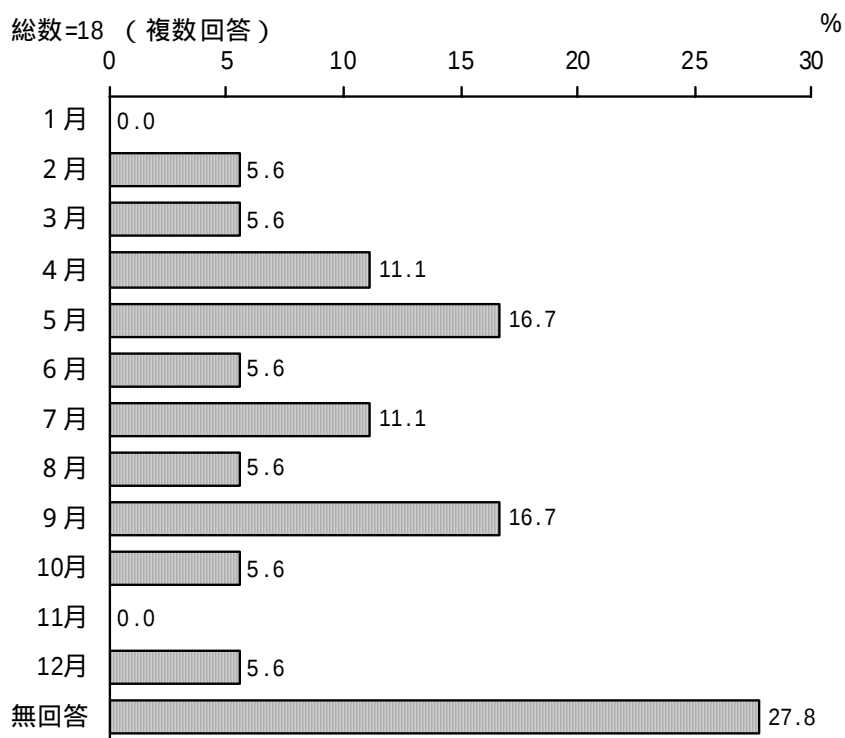
回答のなかでは、「1～4人」が 68.6%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2 番目に多いのは、「5～9人」の 10.0%、3 番目は「10～19人」の 10.0%となっている。

問29. イベント時人数分類



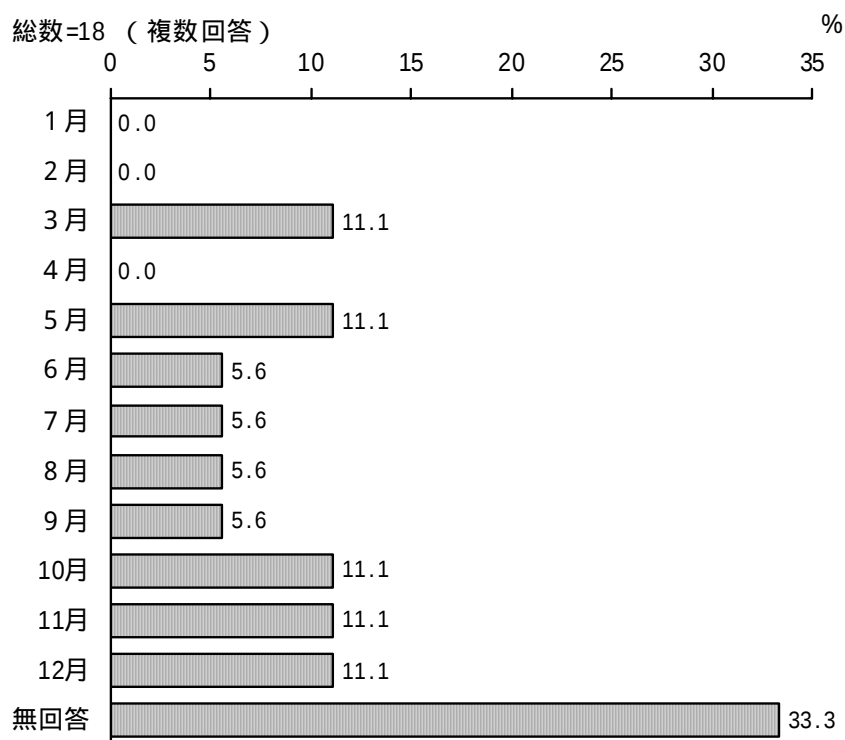
最も多い答えは「1～4人」の48.9%であり、第2位の「5～9人」の22.2%の2倍以上となっている。第3位は「10～19人」(11.1%)、第4位は「20～29人」(11.1%)、第5位は「30～49人」(6.7%)となっている。

問29. 繁忙時期分類・始まり月



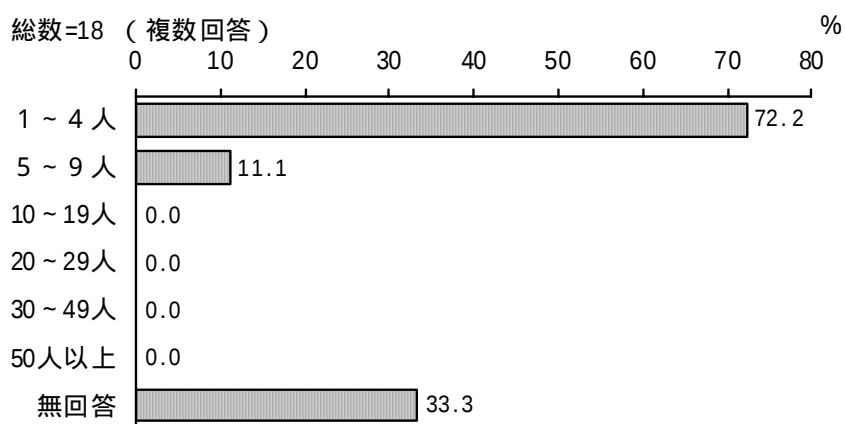
「5月」と「9月」は、16.7%で同数1位となっている。第2位は「4月」の11.1%、第3位は「7月」の11.1%となっている。

問29. 繁忙時期分類: 終わり月



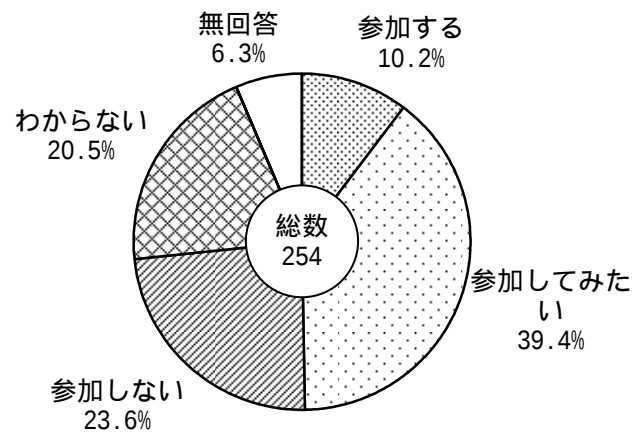
「3月」と「5月」と「10月」は、11.1%で同数1位となっている。第2位は、「11月」の11.1%、第3位は「12月」の11.1%となっている。

問29. 繁忙期人数分類



回答のなかでは、「1～4人」が72.2%と、他に比べて格段に多くなっているのが目立っている。2番目に多いのは、「5～9人」の11.1%となっている。

問 30 . NPO 団体との出会いの場への参加意向



回答の中の第1位は、「参加してみたい」の39.4%であり、第2位の「参加しない」の23.6%をかなり上回っている。第3位は「わからない」(20.5%)、第4位は「参加する」(10.2%)となっている。

付録 アンケート調査票

団体名：	
記入者：氏名	役職
住 所：	区
電 話：	FAX：
E-mail：	
URL：	

貴団体の概要についてお伺いします。(問1～5)

問1 貴団体の活動分野を下記の中から該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)
また、主な活動分野1つに をお付けください。

1. 保健、医療又は福祉	2. 社会教育
3. まちづくり	4. 学術、文化、芸術又はスポーツ
5. 環境の保全	6. 災害救助活動
7. 地域安全活動	8. 人権の擁護又は平和の推進
9. 国際協力の活動	10. 男女共同参画社会の形成の促進
11. 子どもの健全育成	12. 情報化社会の発展
13. 科学技術の振興	14. 経済活動の活性化
15. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充支援	
16. 消費者の保護	
17. 前各号の掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	

問2 法人の認証年月日を教えてください。

_____ 年 _____ 月 _____

問3 貴団体の活動概要を教えてください。

--

問4 直近の決算での総支出額を教えてください。

1. 100万円未満	2. 100万円以上～500万円未満
3. 500万円以上～1,000万円未満	4. 1,000万円以上～5,000万円未満
5. 5,000万円以上～1億円未満	6. 1億円以上

問5 有給の職員はいますか？

1. いる	有給職員	_____人		
	常勤（男性	_____人	女性	_____人）
	非常勤（男性	_____人	女性	_____人）
	無給職員	_____人		
	常勤（男性	_____人	女性	_____人）
	非常勤（男性	_____人	女性	_____人）
2. いない	（→問11へお進みください）			

有給職員がいる団体にお伺いします。（問6～10）

（おおよその数字でかまいません）

問6 有給職員の方々の在職年数と人数を教えてください。

1. 1年未満	（_____）人	2. 1年以上～3年未満	（_____）人
3. 3年以上～5年未満	（_____）人	4. 5年以上～10年未満	（_____）人
5. 10年以上	（_____）人		

問7 職員の方々の年齢層を教えてください。

1. 20歳未満	（_____）人	2. 20歳代	（_____）人
3. 30歳代	（_____）人	4. 40歳代	（_____）人
5. 50歳代	（_____）人	6. 60歳代	（_____）人
7. 70歳以上	（_____）人		

問8 問7で「5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上」を選んだ団体にお伺いします。
雇用してよかった点、または課題・問題点があれば、お聞かせください。

1. よかった点 （具体的な内容をお書きください）
2. 課題・問題点
具体的な内容
工夫した解決策とその結果

問 9 有給職員の給与形態で、あてはまる番号を○で囲み、おおよその金額をご記入ください。(複数回答可)

1. 月 給	_____人	(_____円 ~ _____円)
2. 日 給	_____人	(_____円 ~ _____円)
3. 時間給	_____人	(_____円 ~ _____円)

問 10 貴団体で加入している保険に○をつけてください。(複数回答可)

1. 厚生年金	2. 健康保険 (社会保険)
3. 労災保険	4. 雇用保険
5. その他の保険 (_____)	
6. 加入していない	

ここからは、有給の職員の雇用に関連し、今後の意向についてお伺いします。

(問 11 ~ 22)

問 11 今後、有給の職員を雇用する予定はありますか？ または、できれば雇用したいと考えていますか？ (非常勤を含みます)

1. 雇用する予定がある
2. 雇用したいと考えている
3. ない (→ 問 23 にお進みください)

問 12 問 11 で、「 1. 雇用する予定がある 2. 雇用したいと考えている 」方に伺います。おおよその人数、就業形態を教えてください。(複数回答可)

■ 常勤 (_____) 人ぐらい		
1. 週 1 回	(_____ 1 ~ 3 時間	3 時間以上)
2. 週 2 ~ 3 回	(_____ 1 ~ 3 時間	3 時間以上)
3. 週 4 ~ 6 回	(_____ 1 ~ 3 時間	3 時間以上)
■ 非常勤 (_____) 人ぐらい		
1. 週 1 回	(_____ 1 ~ 3 時間	3 時間以上)
2. 週 2 ~ 3 回	(_____ 1 ~ 3 時間	3 時間以上)
3. 週 4 ~ 6 回	(_____ 1 ~ 3 時間	3 時間以上)

問 13 雇用したいと思う年齢層について教えてください。また、おおよその人数も教えてください。(複数回答可)

1. 20 歳未満 (_____) 人	2. 20 歳代 (_____) 人
3. 30 歳代 (_____) 人	4. 40 歳代 (_____) 人
5. 50 歳代 (_____) 人	6. 60 歳以上 (_____) 人
7. 特に考えていない	

問 14 給与はいくらを想定していますか？ また、上限はどのくらいまでですか？
 （このくらいなら何とか出せるかな……という金額でもかまいません）（複数回答可）

- 1．月 給 _____人 （ _____円 ～ _____円 ）
- 2．日 給 _____人 （ _____円 ～ _____円 ）
- 3．時間給 _____人 （ _____円 ～ _____円 ）

問 15 どのような仕事を想定していますか？

問 16 雇用にあたって、どのようなスキルを持つ人材を希望しますか？ また、必要な資格、またはあった方がよい資格があれば、お書きください。（複数回答可）

- 1．受付事務
- 2．一般事務
- 3．経理事務が詳しい
- 4．パソコンスキルについて できなくてもよい
 少なくとも Word Excel は使える
 パソコン操作が得意
 IT 関係の専門知識・技術を持っている
- 5．イラスト・デザインが得意な人
- 6．編集・レイアウトなどが得意な人
- 7．その他（ _____ ）
- 資格が必要な場合はご記入ください
 （どんな資格ですか？ _____ ）

問 17 雇用にあたって、職員に対する研修は必要だと思いますか？

- 1．必要 → 団体内で行っている場合は、具体的にお書きください

[_____]

- 2．必要ない （ → 問 19 にお進みください ）

問 18 どのような研修が必要だと思いますか？（複数回答可）

- 1．NPO の基本的な知識について
- 2．NPO と営利企業・官公庁との組織運営の違いについて
- 3．行政との協働について
- 4．コミュニケーションの取り方について
- 5．一般的なビジネスマナー（あいさつ、電話対応等）について
- 6．その他（具体的に

）

ミドルエイジ（ここでは 50 歳以上）世代の雇用についてお伺いします。

（問 19 ～ 22）

問 19 ミドルエイジ（50 歳以上）世代を雇用する可能性はありますか？

- 1．ある
- 2．ない（→問 23 にお進みください）

問 20 ミドルエイジ世代にどのようなことを期待しますか？ 3 つまで選び○で囲んでください。

- 1．前職で培ったスキルを活かしてほしい
- 2．これまで培った人脈を活かしてほしい
- 3．前職の企業や行政等の組織運営における優れた点を導入してほしい
- 4．団体内のマンネリ化により刺激になってほしい
- 5．今までにない発想（アイデア）を提供してほしい
- 6．職員の構成年齢のバランスをよくしたい
- 7．ほかの職員よりも低めの賃金設定が可能かもしれない
- 8．その他（具体的に

）

問 21 ミドルエイジ世代を雇用する場合、心配（不安）なことがありますか？

3 つまで選び○で囲んでください。

- 1．そもそも NPO で働くということを理解している（もらえる）のだろうか
- 2．前職の「肩書き意識」が抜けないのではないか
- 3．企業の組織理論をそのまま持ち込み、団体内部が混乱するのではないか
- 4．人の意見を聞かないのではないか
- 5．自分の考えを押し付けるのではないか
- 6．NPO の組織運営について理解してもらえるだろうか
- 7．単純作業などを頼みにくいのではないか
- 8．その他（具体的に

）

問 22 ミドルエイジ世代を雇用する場合に、必要と思うことは何ですか。3 つまで選び
○で囲んでください。

1. 仕事上での裁量権をもってもらい、やりがいにつなげる
2. 団体の活動を通じて（能力）を発揮できる仕事内容を設定する
3. 就業形態（常勤・非常勤）を選択できるようにする
4. フレックスタイムの導入
5. 研修への参加
6. その他（ ）

ボランティア・インターンについてお伺いします。（問 23～30）

問 23 ボランティア・インターンを受け入れたい（受け入れてみたい）ですか？

1. 受け入れたい（受け入れてみたい）
2. 受け入れない（→問 30 へお進みください）

問 24 問 23 で「1. 受け入れたい（受け入れてみたい）」と答えた方にお伺いします。
希望頻度はどのくらいですか？（複数回答可）

1. 1 週間に（ 1 回 2～3 回 4～6 回 ）
2. 1 月に（ 1 回 2～4 回 5 回以上 ）
3. その他（ ）

問 25 ボランティア・インターンの希望の年齢層を教えてください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 |
| 4. 40 歳代 | 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 |
| 6. 70 歳以上 | | |

問 26 ボランティアやインターンをコーディネートする担当者はいいますか？

1. いる（ 専属 兼任 ）
2. いない

問 27 ボランティア・インターンの仕事はどのようなことを想定しますか？

できれば、具体的にお書きください。（複数回答可）

問 28 ボランティア・インターンに対する謝礼や交通費について教えてください。

■ 謝礼金		1. なし
		2. あり
	(	) 円/回 ~ () 円/回ぐらい
	(	) 円/時間 ~ () 円/時間ぐらい
	その他 ()	
■ 交通費		1. なし
		2. あり
	実費	() 円/回ぐらいまで
	その他 ()	

問 29 ボランティア・インターンが必要な（募集する）時期と人数について教えてください。

1. 通年	_____人ぐらい		
2. イベント時	(イベント名)	_____人ぐらい	
	(イベント名)	_____人ぐらい	
3. 繁忙期	(_____ 月から _____ 月ごろ)	_____人ぐらい	
	(_____ 月から _____ 月ごろ)	_____人ぐらい	

問 30 NPO への就職希望者やボランティア・インターン希望者などと、NPO 団体との「出会いの場」を設定した場合、参加しますか？

1. 参加する	
2. 参加してみたい（興味がある）	
3. 参加しない	
4. わからない	
ご意見、ご希望があれば、ご自由にお書きください	

お忙しい中、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。



文部科学省 平成 20 年度「再チャレンジのための学習支援システム構築」事業

事業報告書

再チャレンジのきっかけとしてのNPO雇用状況
アンケート調査報告

発行日：平成 21 年 3 月

発行者：産官学民・再チャレンジ学習支援協議会

（事務局：NPO サポートセンター）

東京都中央区銀座 8-12-11 第 2 サンビル

TEL: 03-3547-3206 FAX: 03-3547-3207

（禁無断転載）

[Redacted text block]

